【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第６区分
【発行日】令和5年6月13日(2023.6.13)

【公開番号】特開2021-193034(P2021-193034A)
【公開日】令和3年12月23日(2021.12.23)
【年通号数】公開・登録公報2021-062
【出願番号】特願2020-115217(P2020-115217)
【国際特許分類】
*Ｂ６５Ｄ　5/462(2006.01)*
【ＦＩ】
Ｂ６５Ｄ　5/462３０５

【手続補正書】
【提出日】令和5年6月2日(2023.6.2)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
箱容器を組み立てるための箱容器組立用シートであって、
前記箱容器の相対する一の側壁を構成する一対の巾広側壁と、
前記箱容器の相対する他の側壁を構成する一対の巾狭側壁と、
前記一対の巾広側壁及び前記一対の巾狭側壁のうち何れか一方の上方に隣接してそれぞれ配置され、前記箱容器の天面において最下部に位置する第一層とその上に積層される第二層とをそれぞれ構成する一対の上部内側フラップと、
前記一対の巾広側壁及び前記一対の巾狭側壁のうち何れか他方の上方に隣接してそれぞれ配置され、前記箱容器の天面において前記第二層の上に積層される第三層とその上に積層される第四層とをそれぞれ構成する一対の上部外側フラップと、
を備えることを特徴とする箱容器組立用シート。
【請求項２】
前記第三層を構成する前記上部外側フラップは、その一部が内側へ折り曲げ可能に形成されてなり、折り曲げられた状態でトラス構造を形成する一対の第一トラス形成把手を有し、
前記第四層を構成する前記上部外側フラップは、その一部が外側へ折り曲げ可能に形成されてなり、折り曲げられた状態でトラス構造を形成する一対の第二トラス形成把手を有し、
前記第一層及び前記第二層を構成する前記一対の上部内側フラップそれぞれは、前記一対の第一トラス形成把手と対応する位置にそれぞれ形成された一対の打抜穴を有することを特徴とする請求項１に記載の箱容器組立用シート。
【請求項３】
前記一対の第一トラス形成把手に、その縁部を部分的に切り欠いて指掛穴がそれぞれ形成されたことを特徴とする請求項２に記載の箱容器組立用シート。
【請求項４】
前記第四層を構成する前記上部外側フラップは、前記第二トラス形成把手に面する縁部が内側へ折り曲げ可能に形成されてなるトラス形成把手引き上げフラップを有することを特徴とする請求項２又は３に記載の箱容器組立用シート。
【請求項５】

前記一対の第一トラス形成把手は、その折り曲げ線に直交する方向の長さが互いに等しく形成され、且つ、前記一対の第二トラス形成把手は、その折り曲げ線に直交する方向の長さが互いに等しく形成され、
前記一対の第二トラス形成把手は、前記一対の第一トラス形成把手が互いに当接する位置の鉛直上方の位置で互いに当接することを特徴とする請求項２から４の何れか一項に記載の箱容器組立用シート。
【請求項６】
請求項１から５の何れか一項に記載の箱容器組立用シートを組み立てることにより形成される箱容器であって、
一方の前記巾広側壁と一方の前記巾狭側壁とが互いに固着され、
前記第一層を構成する前記上部内側フラップの上に、前記第二層を構成する前記上部内側フラップが積層され、その上に前記第三層を構成する前記上部外側フラップが積層されると共に、更にその上に前記第四層を構成する前記上部外側フラップが積層されたことを特徴とする箱容器。